

北海道移住の農業従事者描く

豊かさ問う「空想の森」

あすから下京で上映

督の舞台あいさつもあ
る。

映画を語る

北海道新得町に移住し、農業に取り組む二つの家族を追ったドキュメンタリー「空想の森」が18、24日、下京区の京都シネマ(075・3353・4723)で上映される。18、19日の午前10時の回上映後には、田代陽子監

同町で行われている映画祭をきっかけに農業と出合った田代監督が、7年の歳月をかけて完成させた。食べた野菜の味が忘れられず、「農業に縁がなかった私にとって発見だった。おいしさに理由があるのでは」とカメラを回したという。

さまざまなたちが集まる共働学会で働きながら、独立を考える

若者夫婦と、70年代に入植し、自分たちの暮らしスタイルを確立した夫婦。印象に残るのは、お金では買えない豊かさを手に入れた人たちの笑顔だ。

全国で自主上映会を開いているが、農業に強い関心を持つ若者の多さに驚きを感じるという。「今は物質の裕福さから精神的な豊かさへの転換期かもしれない。農業で暮らす人たちの希望を描きたかった」と田代監督は語る。私自身も作品を見てなぜか心が癒やされると同時に、羨望の感情が渦巻いた。日々の生活に豊かさを見出せていないのだろうか。

【小川信】

短 信

◇「築城せよ!」出演女優舞台あいさつ
18日(土)、下京区の京都シネマ(075・3353・4723)。

戦国武将が現代にのみがえり、住民を巻き込んで段ボールで城を築く「築城せよ!」が18日から公開されるのに合わせ、宇治市出身でヒロインを演じた海老瀬はなさんが、10時15分の回上映後と12時40分の回上映前にあいさつする。



「空想の森」の一場面。「空想の森」上映委員会